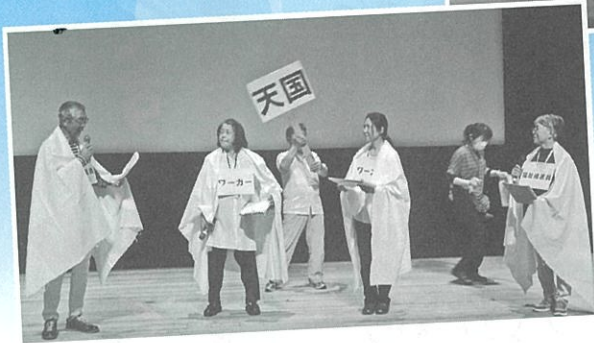


地域福祉推進セミナー 兼 「参加の力」で創るボランティア・地域活動実践講座

## 地域の参加を「止めない」 ポストコロナの 地域力アップ セミナー

どうする参加！？  
ポストコロナの地域活動

奥 知久  
地域包括ケア研究所  
おく内科在宅クリニック



### 目次

- ◆赤い羽根共同募金  
その歴史としくみ・活用事例……………2～3
- ◆「お互いさま」の支え合い  
「地域たすけあい事業」に参加しませんか…4～5
- ◆デイサービスにおけるエコバッグ作りが結ぶ  
地域の事業所とのつながり……………6
- ◆長野市社協の相談窓口……………7
- ◆その他……………8  
長野市社会福祉大会表彰者一覧  
フードドライブへのご協力をお願い  
ふくしながのクイズ  
「賛助会員」募集のお願い

6月21日に地域福祉推進セミナー兼「参加の力」で創るボランティア・地域活動実践講座を開催し、地域の福祉関係の役員さんを中心に243名にご参加いただきました。

地域の活動を推進する上で大切なポイントを会場全体で共有しました。

10月以降もボランティア・地域活動実践講座は続いています。ぜひご参加ください。

詳細は長野市ボランティアセンター  
(☎227-3707) までお問合せください。

### 予定

- 10月 話し合いを「見える化」し、参加を進める  
ファシリテーション
- 11月 まちの縁側講座  
地域のヒト、コト、モノを発見しよう
- 12月 孤立防止セミナー「現場は今」
- 12月 ボランティアのつどい
- 1月 多様性を認め合う関係づくり
- 1月 福祉教育のつどい
- 2月 「気になる」思いを実現し活動しよう

### 編集・発行

社会福祉法人  
長野市社会福祉協議会

〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町1714-5  
TEL : 225-1234  
URL : <https://www.csw-naganocity.or.jp/>



  
「ふくしながの」は  
共同募金からの配分金で発行  
しています。



## 赤い羽根共同募金

くその歴史としくみ・活用事例をご紹介します

10月1日から「赤い羽根共同募金」が全国で一斉に開始されます。

今号では、毎年実施されるこの取組について、その歴史やしくみ、皆様からの寄付が活用されている事例をご紹介します。

## 成り立ち

この取組は、戦後間もない昭和22(1947)年に、「国民たすけあい運動」として始まり、今年で創設77年を迎えます。

当初は、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

現在は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する、「じぶんの町を良くするしくみ」の取り組みが中心です。

赤い羽根を共同募金のシンボルとして使うようになったのは、第2回目の募金運動からです。

昭和23(1948)年頃、アメリカで水鳥の羽根を赤く染めて使っていたのヒントを得て、日本では不要

になった鶏の羽根を使うようになりました。

「赤い羽根」は、運動が始まった頃は、寄付をしたことを表す印として使われてきました。現在は、「共同募金」のシンボルとして幅広く使われています。



公式キャラクター  
愛(あい)ちゃん・希望(きぼう)くん

## 計画に基づき募金

赤い羽根共同募金の特徴は、「計画募金」であることです。各区で開催されているおしゃべりサロンや、住民自治協議会で実施している子育て支援事業、福祉自動車の運行など、翌年度の事業に必要な金額を積算し目標額とした上で、皆様にご協力をお願いします。

## 善意が還元するしくみ

皆様からの寄付は長野県共同募金会に全て集約され、事前の計画に基づいて配分されます。

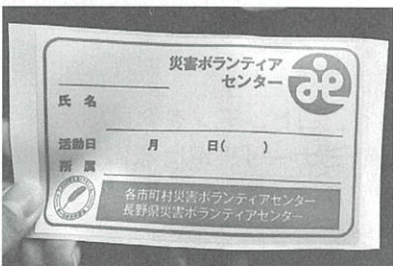
募金実績の約四割は、県下の広域の取組などに配分されます。残りは市町村に配分され、先に述べた住民自治協議会の福祉活動等に活用されます。

一人ひとりのお気持ちで地域の福祉を支えている、善意が地域に還元されるしくみのことです。

## 災害時の支援

令和元年10月に発生した令和元年東日本台風災害時には、復旧・復興の過程で多数のボランティアの支援をいただきました。

千曲川流域の被災自治体では市町村の社会福祉協議会が中心となり、災害ボランティアセンターを運営し、被災者の支援に係るコーディネートを行いました。また、そのセンターの運営に関しても共同募金が活用されました。市町村によっては、ボランティアを移送するシャトルバスの運行や、スコップや土嚢などの資材の配備、サテライト(被災エリアの支援拠点)の運営など、被災者への支援活動を強力に下支えしました。



上段:災害ボランティアセンターの様子  
下段:赤い羽根のマークが入った活動証

次ページは赤い羽根共同募金の配分を受け、実施している取組を紹介します。



## 川端区お茶のみサロン (古牧地区)

川端公民館を会場に年6回を目的に実施しており、福祉推進員が企画を考え、民生児童委員が周知を担っています。

地区内から毎回30名程の参加があり、天気の良い時は公民館のある神社の境内で行うこともあります。地域包括支援センターの職員による講話をはじめ、行政書士による相続の話題や、有名漫談家のDVD鑑賞、善光寺御開帳のよもやま話など、楽しい企画もあり、また「ここに行けばみんなに会える」と、地区の住民に親しまれているサロンです。

運営メンバーの一人の三上喜伴さんは、「赤い羽根共同募金は自分たちのサロンやまちづくりに還元されている。みんなにも伝え、出来る限り協力したい。」と話します。このように、募金は私たちの身近な取組に活用されています。



## ふれあいラジオ体操 (大豆島地区)

毎朝流れるラジオ体操に合わせ、みんなで身体を動かしています。3月から11月にかけて、地区内6か所で行われており、一日あたり100名程の参加があります。

様々な世代の参加があり、中には小さい子連れのお母さんまで、挨拶やグータッチを交わしています。コミュニケーションの機会が減っている中、早朝の心温まるひと時です。毎口顔を合わせること、独居高齢者などの見守り・安否確認の側面もあっています。

学校が夏休みの期間には、育成会との共催となり、世代間交流の場にもなっています。企画に関わる大豆島地区住民自治協議会の地域福祉ワーカーの平野さんは、「赤い羽根共同募金が活用されていることは、あまり知られていないのではなにか。活動には費用がかかるので本当にありがたい。」と話します。

多くの人に募金について知っていただけたら、今後もPRに取り組みしていきます。



## 復興支援・防災体制づくり (長沼地区)

甚大な被害に見舞われた令和元年東日本台風災害。長沼地区では、多くの災害ボランティアの支援を受け、復旧・復興に向けた取組を進めてきました。

また、この時の経験を基に、将来の万が一に備えるため、赤い羽根共同募金の配分金を受け、長沼地区の防災計画や避難ルールブックを作成し、地区内の防災体制を整えています。

長沼地区住民自治協議会の住田事務局長は、「ボランティアの皆さんの力は凄かった。長野オリンピックの時のように沢山の人が来てくれた。こんなに早く被災からここまでこれたのもボランティアの皆さんのおかげです。赤い羽根共同募金は派手な活動ではないけれど、皆さんの知らない所で大きな力となっています。縁の下の力持ちです。」と当時を振り返りながら笑顔で語られました。

皆様の温かいお気持ちが一助になっています。



事務局長の住田さん



長沼地区避難ルールブック  
令和4年 1月発行

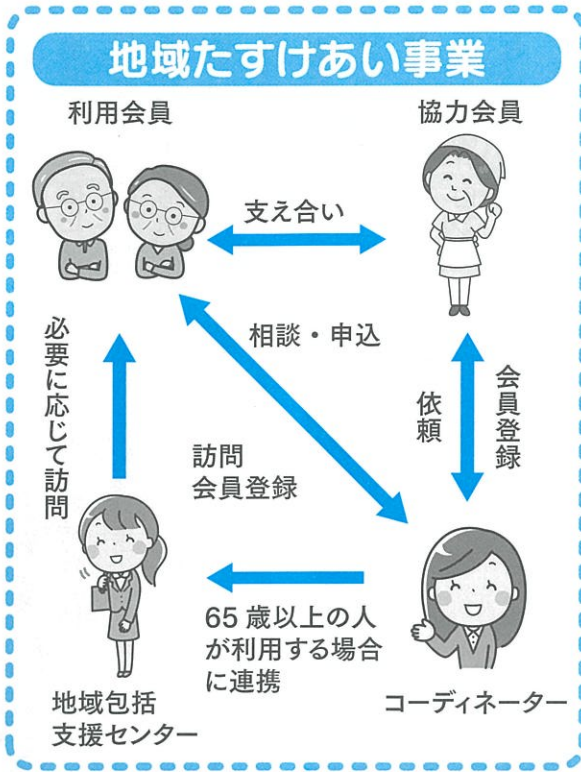




# 「お互いさま」のたすけあい

「地域たすけあい事業」に参加しませんか？

毎日の暮らしの中で「ちょっと困ったな」と思うときはありませんか。各地区の住民自治協議会と協働し、長野市社会福祉協議会では、そんな時に地域で気軽に声を掛け合える仕組みづくり「地域たすけあい事業」を実施しています。「お互いさま」の地域づくりのため、皆様のお力をお貸しください。



## 主な「たすけあい」の内容

身近な地域住民が生活で困った時に、友人やご近所などの地域住民が協力会員となり、「出し合い、草取り、買い物、通院など」、地区ごとの支援内容をお手伝いします。



家事援助：草とり中

ちょっとした困りごとは「お互いさま」。利用会員の方に喜ばれるし、やりがいを感じています。

ちょっとした困りごと

- ☆ゴミ出しができない
- ☆話し相手がほしい
- ☆庭の草取りができない
- ☆病院に行きたい

## 福祉移送

歩行困難な方の通院のお手伝いをします

内容：自宅から医療機関等への通院や入院  
 注意：専門業者が運行している福祉タクシーとは異なり、営利を目的としたものではありません。急なご利用、行き先変更や途中下車等をご遠慮頂いています。身体介助は行っておりません。介助が必要な場合は、介助者を別途手配して頂きます。

利用を希望される方の身体状況等を確認した上で登録の判断をします。

## 家事援助

身の回りの家事に関するお手伝いをします

内容：洗濯、掃除、買い物、草取りなど  
 注意：介護保険制度によるホームヘルプサービス等の資格を有する方のサービスとは異なります。身体介助は行っておりません。

お困りごとやご希望など聞きながら、具体的な内容や時間について決めます。

## 利用会員の声

・ゴミ捨てに行けなくなり困っていたけれど、助けてもらってありがたい。  
 ・協力会員とのちょっとしたおしゃべりが楽しい。

## 協力会員の声

・地域のために何かしたいと思っていた。空いている時間で協力ができて、喜んでもらえると自分も嬉しい。

## 協力会員募集しています！

身近な地域で「ちょっと困っている」方が増えています。

一方で共働き家庭の増加や、定年後も働き続ける方が増え、地域の活動に参加できる人が減少しているため、活動の「担い手」不足が地区の課題となっています。

長野市社会福祉協議会では、協力会員を常時募集しています。短い時間でも構いません。できる範囲で少しの「たすけあい」活動を地域で行ってみませんか。皆様からのご連絡をお待ちしております。





## 協力会員 募集



「たすけあい」に想いのある方であれば、年齢や経験、専門性は問いません。少しの時間でも活動に賛同し協力いただける方を求めています。

◎活動内容：家事援助、福祉移送(自動車の運転)が中心です。

◎活動時間：あなたの可能な日・時間帯で調整します。

◎資格は不要：熱意のある方であれば年齢や経験は問いません。但し、福祉移送については一定の条件があります。

◎協力費：1回1時間以内 500円

### ★保険の加入★

協力会員が活動中にケガをしたり、利用会員にケガを負わせた場合に備えて賠償責任及び傷害保険に加入しています。

## お問い合わせ・お申し込み先

～お住いの地区へお問い合わせください～

地区	電話番号
中心5地区(第1～5) 権堂イーストプラザ内	238-2820
芹田地区 芹田総合市民センター内	070-1576-6050
古牧地区 古牧公民館内	244-5522
三輪地区 三輪公民館内	232-2225
吉田地区 吉田総合市民センター内	217-2882
東北3地区(古里・柳原・長沼) 東北老人福祉センター内	295-4944
浅川地区 浅川支所内	263-3365
大豆島地区 大豆島総合市民センター内	221-3241
朝陽地区 朝陽支所内	241-3162
若槻地区 支所併設福祉コーナー	296-5933
安茂里地区 安茂里老人福祉センター内	224-2100
小田切地区 小田切支所内	229-1511
芋井地区 芋井支所内	262-1583

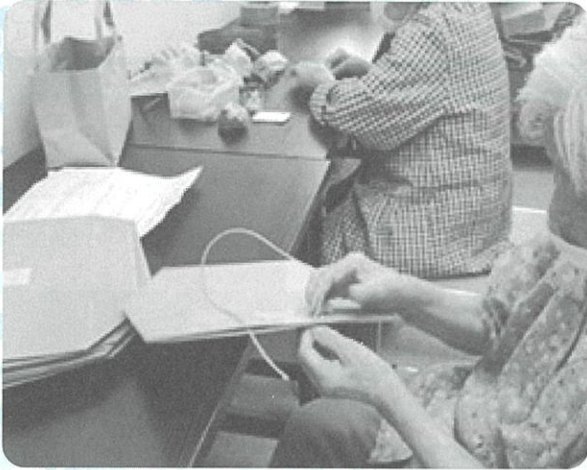
地区	電話番号
篠ノ井地区 篠ノ井ボランティアセンター内	293-5507
松代地区 松代支所内	278-9580
若穂地区 若穂支所ボランティア室内	282-4600
川中島地区 川中島支所内	285-2712
更北地区 更北支所内	213-6637
七二会地区 七二会支所内	229-2701
信更地区 信更支所内	299-2114
豊野地区 豊野支所内	257-5525
戸隠地区 戸隠支所内	254-2490
鬼無里地区 鬼無里支所内	256-3166
信州新町地区 信州新町福祉センター内	262-3211
中条地区 中条総合市民センター内	267-1230

事業に関する  
お問い合わせ先

本部 ☎227-3030  
(長野市社会福祉協議会地域福祉課)



# デイサービスにおけるエコバッグ作りが結ぶ 地域の事業所とのつながり



デイサービスのご利用者によるエコバッグ作り

柳町介護サービスセンター通所介護事業所は、ご利用者が、機能訓練の一環として作成したエコバッグを活用して、役割をもって社会参加や地域貢献活動ができ、やりがいにつながるよう支援しています。

エコやSDGsを意識し、古新聞や包装紙を使って作成しているエコバッグをコンビニなどの店舗に置いてもらい、お客様に喜ばれていることが、ご利用者のやりがいつながっています。またご利用者自身の変化を通じて、ご家族の喜びや介護負担感の軽減となり、事業所スタッフのやりがいにもつながっています。

エコバッグを置いていただける店舗も



店舗に設置された箱へエコバッグの補充

増え、制作活動にご協力いただける新たなご利用者も増え、作業も大忙しです。

「床の上に広げて切った方が大きさを合わせられるよ」「このシール、曲がってない？大丈夫かしら？」などご利用者同士で提案、相談されしっかりと入念なチェックを行い、店舗にエコバッグをお届けしています。

令和2年から【買い物かご拭き】のお手伝いやエコバッグを利用していただいているファミリーマート早苗町店では、毎月1回【野菜市】を開催しています。その野菜市で

は、畑をお借りしてご利用者にジャガイモなどの野菜作りをさせていただいている繋がりから、社会福祉法人「くりのみ園」の商品を販売する場所を提供していただいています。柳町介護サービスセンター通所介護事業所の活動を通じて、事業所同士の繋がりも出来ました。

店長は、「これからも地域に寄り添い、誰もが安心して暮らせる社会になるよう貢献したい」と話します。

ご利用者が社会とつながりを持つ機会を広げるため、エコバッグを置いていただける店舗を増やす取組も継続して力を入れています。ぜひお声掛けください。



野菜市でくりのみ園の商品を販売するご利用者



# 長野市 社協の相談窓口

お困りの方どなたでもご利用いただけます。  
(ただし長野市在住の方に限ります。)

●相談は無料 秘密は厳守します

※祝・休日、年末年始(12月29日～翌年1月3日)、毎月第3日曜日はお休みです。

## こんな時はお電話ください。

### 生活が苦しい、就職がうまくいかない

☎219-6880 まいさぼ長野市



相談員と一緒に考えたり、現状を整理をしながら生活の立て直しや、困りごとの解決をお手伝いいたします。

- 経済的に困窮している方
- ひきこもりや孤立状態にある方
- 仕事に就けない方
- 困っているのに誰に相談して良いか分からない方 など

### 悩みや困りごとを聞いて欲しい

☎226-8200(本部:毎週火・金曜日)

☎292-1151(篠ノ井:毎週月曜日)

きぼう相談



相談員がじっくり話をお聞きし、必要な場合は様々な専門機関につなぎます。

- どこに相談して良いか分からない方
- 専門機関に相談するほどではないかもしれない…というような悩みをお持ちの方 など

### 成年後見制度について知りたい

☎225-0153(信濃町、飯綱町、小川村の方もご利用頂けます。)

長野市成年後見支援センター



判断能力の不十分な方が安心して地域で生活を送れるように後見人が資産の管理や契約の支援を行います。

- 家族や自身の今後に備えあらかじめ制度のことを知りたい方
- 「後見制度の活用が必要」と言われたが、どのように進めればよいのか知りたい方
- 家族の後見人になったが、活動上の不安がある方 など

### 一人暮らしをしていて将来が不安だ

☎219-5115

「おひとりさま」あんしんサポート相談室



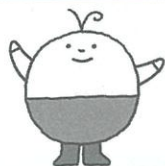
身寄りのない方のおひとりでは解決が難しい困りごと・不安解消のお手伝いをします。

- 今は元気に一人暮らしをしているけれど、将来の準備をしておきたい方
- 一人暮らしで将来、入院するとき、頼れる親族がおらず不安な方
- 自身が亡くなった後のことを頼める人がいないため不安な方 など

### ボランティアについて相談したい

☎227-3707

長野市ボランティアセンター



ボランティア活動や市民活動に関する様々な相談をお受けします。

- ボランティア活動してみたい方
- ボランティアの力を必要とする方
- 他のボランティアグループとつながりたい方 など

長野市ボランティアセンター  
公式LINEアカウント



### 地域の活動をどう進めて良いか分からない、知りたい

☎227-3030

地域福祉担当



各地区の福祉活動を進めるための支援をいたします。

- 地区地域福祉活動計画の策定…アドバイスから他地区の情報提供、策定に向けた支援を行います。
- 研修のお手伝い…福祉推進員をはじめとした研修に講師を派遣します。
- 活動の助成…サロンや地域福祉大会など各地区の福祉活動を進めるための活動費の助成をいたします。



## 長野市社会福祉大会表彰

～令和5年度受賞者の皆様～

長野市社会福祉協議会では、多年にわたり社会福祉及びボランティアの各分野の発展に功労のあった方々を、毎年表彰しております。

中澤 あさ子	新井 雅利
柳澤 厚史	岡田 治行
原 明德	西内 好
吉野 達雄	矢島 優子
北島 富美子	中澤 美枝子
芋井地区住民自治協議会	信更地区住民自治協議会
下鳥 義二	川又 壽美子
長田 健治	中澤 重光
大宮 譽	酒井 計治
小林 登	高野 仁子
矢島 幸江	小田切 亮
白井 正江	山崎 佐知子
川崎 元興	寺嶋 利光
寺嶋 洋子	松本 正
坂本 保之	小林 幸男
宮本 靖	おもちゃの病院ながの
パソコンの病院ながの	ピップ株式会社
[小さな親切]運動長野支部	真如苑 信越本部
朝陽地区住民自治協議会	長野市民生委員児童委員協議会
匿名 5名	

※匿名希望の方を含め 43 名の方の表彰を行いました。



まいさぼ長野市では、フードドライブを実施しています。集まった食糧は、まいさぼ長野市を通じて、困窮世帯へお渡ししています。

ご家庭に眠っている食糧がある方、余剰食糧がある方はぜひご寄付をお願いいたします。

### 〈フードドライブって?〉

賞味期限までに食べることができない食糧や余剰の食糧を持ち寄り、それらを必要とする方や地域の福祉団体・施設などに寄付をする活動です。

【令和4年度実績】 寄付件数：45,474 件  
寄付者数：352 名(延べ・団体含む)  
寄付重量：7,559kg



### 〈ご寄付いただきたいもの〉

缶詰・レトルト食品・カップ麺・菓子類・お米(粉可)等  
※お米は前年度産までのものを受付けています。

- ・賞味期限が1ヵ月以上あるもの
- ・未開封のもの
- ・包装や外装が破損されていないもの
- ・常温保存できるもの

ご不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。



◆【受付場所】 社会福祉法人長野市社会福祉協議会「まいさぼ長野市」  
〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町 1714-5 長野市ふれあい福祉センター2階  
TEL：219-6880 FAX：219-6882

## ご寄付ありがとうございます

令和5年1月から令和5年6月までにご寄付いただいた方々をご紹介します。

いただいた寄付金品は、長野市の社会福祉の向上や本会の事業のために、活用させていただきます。

- ・東京海上日動火災保険株式会社 長野支店 様
- ・あいいまつり実行委員会 様
- ・長野市ママさんバレーボールクラブ 様
- ・長野モラロジー事務所 様
- ・塚田 まゆり 様
- ・匿名 様

## 長野市社協「賛助会員」募集のお願い

長野市社会福祉協議会では、地域福祉の向上を目的に、地域の皆様にご支援いただきながら事業や活動を実施しています。充実した福祉活動を実施していくためには、より多くの皆様のご支援が必要です。つきましては、広く個人、団体、企業等の皆様に賛助会費制度にご加入いただきますようお願い申し上げます。

年会費 個人賛助会費(1口) 5,000円

団体賛助会費(1口) 10,000円

◆入会についてのお問い合わせ先

総務課総務担当 電話 225-1234

### 問題

「地域○○○○○事業」

に参加しませんか

○○○○○に入る言葉をお答えください。

「ふくしながのクイズ」で

図書カードを当てよう

○クイズの答え・氏名・住所・年齢・性別・ふくしながのや本会についてのご意見、取り上げて欲しい情報等をハガキに書いて左記までお送りください。

○抽選により10名の方に「ふくしながのオリジナル図書カード」をプレゼントします。

○福祉や家族、ボランティアをテーマにしたイラストも引き続き募集しております。

○締め切りは10月31日(火)です。

○送り先 〒38000813 長野市大字鶴賀緑町1714-5  
長野市社会福祉協議会「ふくしながのクイズ」係